



(協)NSK保険協会 顧問

社会医療法人 蘇西厚生会
松波総合病院理事長
松波 英寿先生



2018 年を迎えるにあたり

柔整師のみなさん、新年おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。新年を迎えるにあたり、会員の皆さんは、本年はどのような活動をされるのでしょうか？柔整の担当する領域は整形外科が担当する領域と重なるため、しばしば、医療界からの攻撃対象となります。確かに、柔整の保険適応に関し、問題の対応を取られる医療機関や接骨院があるのも事実で、批判されるような行動はとるべきではありません。そもそもなぜそのような問題行動を起こす医療機関や接骨院が存在するのでしょうか。それらの機関の責任者の資質の問題もあると思いますが、需要と供給のバランスが崩れていることが最大の原因でしょう。患者さんの数に比し、医療機関も接骨院も多すぎるわけです。それらの経営者は、自分と従業員の生活を守るために、収入を増やさなければならぬため、好ましくない行動をとるのだと推測されます。

さて、理論的に、事業の遂行計画には3通りあると考えられます。

①例年と同様のことを行う、②規模を縮小する、③拡大する、です。最も安易なのは①ですが、社会情勢が変わる中、①はいずれ敗者になるでしょう。②はかなり勇気のいる行為です。縮小して、引退するのならともかく、事業規模を縮小して、家族や従業員を同様に養うのは外的要因が加わらない限り不可能でしょう。しかし、日本の人口は減少するわけですから、高い視野からすれば、適切な時期の事業撤退は賢明な選択かもしれません。③は新たな投資や、アイデアが必要で、失敗する可能性もありますが、成功すれば最も得るものが大きい選択でしょう。問題は何を拡大するかでしょう。単に、従業員や診療スペースを増やしたりするのは、期待が持てません。医療も柔整も客商売であるため、需要の増加が見込まれる地域では“あたる”可能性があります。需要の増加が単純に見込まれる地域は少ないでしょう。では、どのように事業を拡大したらよいか。そこにアイデアが必要なわけです。私は医療の世界に身を置っていますが、ただ単に医師数を増やしたり、診療領域を増やすことに注力しているわけではありません。今後必要となるであろう“在宅医療”に対する新しい取り組みや、医療界のトレンドである“連携”をよりスムーズに行うための方策を考え、新しいビジネスに結び付けるべく活動をしています。

さあNSK会員の皆さん、どんな小さな事であってもいいので、新しいアイデアをもって事業に取り組んでください。幸い近未来的には、接骨院に訪れるであろう住民の数は増加が見込まれるからです。住民の方から必要とされる、地域にとってなくてはならない存在になってください。本年の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣
衆議院議員

武藤 容治様



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

協同組合NSK保険協会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年10月に施行されました衆院選におきまして4回目の当選をさせて頂き、これも偏に協会、組合員皆様のお蔭と心より厚く感謝申し上げます。

さて、日本社会は世界で今迄経験したことがない超高齢化社会を迎え、我が国を取り巻く安全保障問題と同等の危機感

で社会保障問題を喫緊の最重要課題と認識し、日本政府として持続可能な社会保障の在り方を真摯に協議、議論を重ねていくところであります。

先生方には、柔道整復師倫理綱領にある「柔道整復師の職務に誇りと責任を持ち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く」との崇高な倫理性を有し、日々地域医療並びに福祉増進に多大なるご尽力を頂いており、心より敬意と感謝を申し上げます。

今後も高齢化社会への傾向は続くものとみられますが、それ故高齢者支援活動をはじめ、災害時、スポーツ活動等々社会貢献の場が増大すると共に、先生方に対する期待は大変大きいものがございます。どうか先生方の今日までの経験と知恵を地域医療の発展の為にお貸し頂きますようお願い申し上げます。

結びに、新春を迎えられ国民の規範となるべく人格の陶冶に努められている先生方のご活躍と、協同組合NSK保険協会の益々のご盛隆を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

迎春



理事長
早川 真

皆様明けましておめでとうございます。喜びに満ちたお正月をお過ごしのことと存じます。株式会社発足から30年以上、大きな問題もなく運営させて頂いておりますのも一重に組合員の皆様、賛助会員の皆様のお力添えの賜物と心より御礼申し上げます。

柔道整復師の業務を生活の糧としている皆様、本年も出来るだけ多くの御意見を聞かせて頂きたいと思っております。その内容は要望や心配事など何でも構いません。例えば、本会の開催する研修会等には是非足を運んでいただき、直接お声を聞かせてください。養成学校増加に伴う近隣接骨院の急増、整形外科や医科との併診の対応や理解、保険者からの度重なる調査や質問内容の複雑化等、柔道整復師が不安に思う諸問題が山積しております。"だからこそ"国から頂戴した国家資格に誇りを持ち、地域の皆様から【柔道整復師の内容は素晴らしい】と認識して頂き、より多くの人々のお役に立っていただきたいと思っております。

私自身、柔道整復師の仕事を素晴らしい天職だと思っております。若い人に対して、「素晴らしい職業だからやってみないか?」と胸を張ってお誘いしております。また、目の前の患者さんの痛みや、機能障害の不安を聞いて相談に乗ることを喜びとしポジティブに日々の業務を進めてまいります。

私は理事長として、諸問題にも立ち向かってまいります。その役職の真の価値は、柔道整復師の素晴らしさを組合員と共有しながら、仲間を増やしていく事にあると思っております。協同組合は、利益を追求する団体ではありません。この平等な組合の主旨に賛同し、新しい同志に一人でも多く集まってもらえるよう皆様からお声掛けいただければ幸いです。新規会員が更に集まり、互いに協力しあい、組合運営がより円滑に進むことにより、月々の賦課金の見直し等今まで以上に皆様への還元が可能となります。また今後、新たに組合を活性化させるべく、理事会において選挙法の見直しを進めております。経験豊富な事務局スタッフと共に一丸となり、正確な情報収集や提供を行い、健全な組合運営に努めてまいりますので、本年も協同組合NSK保険協会に皆様の変わらぬお力添えの程よろしくお願い申し上げます。



副理事長
吉田 友和

組合員のみなさまには、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は組合の運営に深いご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

みなさまご存知ですが、現行では施術管理者になる為の要件はなく、柔道整復師国家資格取得後は直ちに施術所を開設することが可能です。ところが、昨年発行された厚生労働省の通知では来年度から柔道整復療養費の受領委任を扱う“施術管理者”になる場合には、実務と研修の受講が必要とされております。

実施に当たっては、施術管理者としての職業倫理・法令遵守・医療人としてのマナー・保険請求できる施術の範囲・柔道整復師の適用の判断及び的確な施術・施術録の作成・適切な支給申請書の作成・医療事故発生時の対応・医療機関との連携・広告の制限などの研修が求められます。

年々保険医療が医療業界全体に対して厳しくなっています。わたしは国家資格を持った医療人は、個々に国が必要だと認識しているから資格があり健康保険が適用されていると思います。それは個々に役割が違うからです。柔道整復師の役割とは何か?それは柔道整復師しか出来ないこと、また活躍できることです。色々あると思いませんか?当然、手技・施術です。その他健康相談・トレーナー活動・患者さんの立場で情報を提供・高齢の患者さんに対して認知症の早期支援への協力などです。今後も、柔道整復師が国民の皆様に必要なことだと思っただけのような活動が大切だと思います。

当協会はNPO法人NSK事業推進&スポーツ科学協会と力をあわせ、より一層社会貢献する事により柔道整復師だからできること柔道整復師しかできないことを国民にアピールしたいと思います。本年も組合員の皆様のお役に立てる様、事務局一同とともに協会運営してまいります。



専務理事(会長)
高間 敏宏

あけましておめでとうございます。

さて、柔道整復師が施術だけに専念できた以前と違い、収支管理や事務的作業、多岐にわたる能力が必要とされる今、その変化にあなたは対応できていますか?

近い将来、人工知能(AI)が人間に代わって働くうえで創造力と対人関係能力が求められると言われていますが、それはAIに限ったことではありません。私たち柔道整復師においても今後ますます対人関係能力とコミュニケーション能力が必要とされてくるでしょう。

施術や接客には気配りや思いやり等より良い信頼関係を築ける能力が、問診時においては患者の訴える痛みや症状を読み取る力、施術録・レセプト作成時には負傷原因や長期に施術を必要とした理由を保険者に対する確に情報伝達するコミュニケーション能力の向上が不可欠です。

それと並行して柔道整復師の勘や技が鈍らぬよう修練を重ねていかねばなりません。私が開業した当時、接骨院は“骨つぎ”として認識されていました。骨折や脱臼を手技で整復できる技術を体得した有資格者であることに責任と誇りを持って適切な処置や施術が出来る柔道整復師であり続けてください。科学技術のめまぐるしい進化の中で本当に必要とされているのは患者の自然治癒力を促し健康寿命を高める血の通った人間の手当てであると確信を持って【文武は車の両輪のごとく】を実践してまいりましょう。

自賠責についての勉強会

日時：平成29年9月3日(日) 11:00~12:30
 会場：名古屋東京海上日動ビルディング (名古屋市中区丸の内)

東京海上日動損害課の方を講師にお招きし、自賠責保険についての勉強会を開催致しました。丁寧な分かりやすい解説で、参加者からの様々な質問にも適切な回答をいただきました。

組合員の方には9月20日に当日配布された資料と“Q&A”をまとめた文書を一齐送信しております。

また、ご希望の方にはDVDを貸出致しますので、ぜひご覧ください。



平成30年 NSK主催行事のご案内

学術研修会&懇親会

【日時】平成30年1月21日(日)
 13:30~17:00

【会場】じゅうろくプラザ 2階 研修室6
 JR岐阜駅隣接

- 【内容】①カルテ指導
 ②最近の返戻の傾向と注意点
 ③『仙腸関節と手部を使って身体を調整するやり方』の紹介
 講師 吉田接骨院 吉田友和 院長
 ④『腰椎捻挫』における教育情報通信の解説・手技紹介
 講師 早川接骨院 早川 真 院長

17:00~
 新年懇親会を開催致します



第8回定時総会

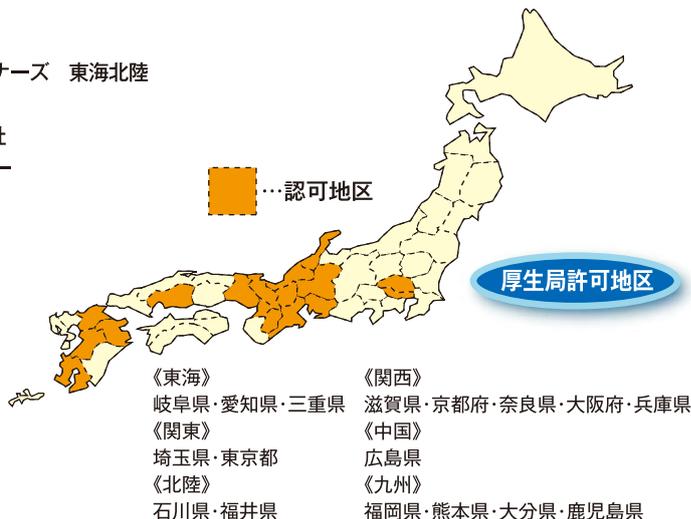
【日時】平成30年5月20日(日) 11:00~
 ※詳細は改めてご案内いたします。

【会場】みんなの森 ぎふメディアコスモス みんなのホール(多目的ホール)
 岐阜市司町40番地5

【賛助会員】

- 有限会社 コンパス
 東和ハイロジック 株式会社
 日本エキスパートシステム 株式会社
 新日本薬品 株式会社
 株式会社 ラリーウェル
 株式会社 ワールド
 西尾衛生材料 株式会社
 日本システムクリエイト(株) 名古屋営業所
 株式会社 三和商事薬品
 メディカル サポートシステムMSS

- 株式会社 東海日動パートナーズ 東海北陸
 株式会社 印刷工房
 東和ハイテック 株式会社
 株式会社 エス・エス・ビー
 愛知電子工業 株式会社
 株式会社 ドリーム
 合同会社 メイシス
 コスモ情報システム
 (順不同)



【新規会員】

- 岐阜県 新岐阜接骨院 栗本康生 院長
 埼玉県 おおみや整骨院 株式会社スポーツ&ワークス



理事長
古田 国義

昨今のマラソンプームで女性ランナーに注目が集まっています。ここ10年で女性のフルマラソン完走者が、5倍以上に急増しているようです。

ランニングの楽しみ方も多様化し、カラフルなランニングウェアに身を包んだ美ジョガーたちは、シューズ、ウェア、スパッツ、GPS付腕時計、スマホのアプリ、サプリメントなど驚くほどのランニング高機能ギア・グッズを備え、一人で頑張る事も大切だけど仲間とワイワイ楽しむものも有りかなと思わせます。

こうした状況下で特に女性ランナーは、身体に関する事は男性よりシビアに思われます。そこで我々柔整師もボランティアに参加する際には、ランニングに関する新しい情報を収集し、予備知識を高め、コンディション・ケアを施しながらランナーが何を求め、何を必要としているか?身体の声に耳を傾けることが大切です。

是非、皆さんもマラソン・ボランティア活動を通じてランナーと触れ合いを感じ、マラソンに精通した柔整師をめざしてみませんか。微力ながらお手伝いさせていただきます。

◎メディコスまつり『フム・ドキ・ワイワイ』

日時：平成29年10月15日(日)
午前10時～午後4時
場所：みんなの森ぎふメディアコスモス
岐阜市司町

『筋肉を柔らかくして元気に活動しましょう!』をモットーに我々NSKの柔道整復師が、ワークショップに来られた方々の身体の調子を診て、腰痛、首や肩の痛み、骨盤調整、顎関節などをケアしました。



◎トランジットモール

日時：平成29年11月19日(日)
午前10時～
場所：岐阜市神田町通り

信長公入城450年を記念し、岐阜市神田町通りを一般車通行止めにし、アーケード街を特設会場とする『ぎふ信長楽市』トランジットモールを開催。

真冬並みの寒気が流れこみ雨も降り続く中、通り掛かった方々にボディーケアを施したところ、冷えやむくみなどで硬くなった筋肉がほぐれたと喜んでいただけました。



被災地への募金

2016年4月に発生した熊本地震以来、私たちにできることとして従来より参加していた犬山マラソン、高橋尚子ぎふ清流ハーフマラソンに加えメディコスまつりやトランジットモールにも精力的に参加し募金活動をおこなってきました。

NPO法人のボランティア活動に賛同して下さった皆様の温かい思いを義援金として社会福祉法人 東海テレビ福祉文化事業団を通じて被災者の方々へお届けいたしました。

皆様ご協力ありがとうございました!

NPO法人 NSK事業推進&スポーツ科学協会
ボランティア募集!
ご協力いただける先生は
事務局までお問い合わせください
☎058-248-0083

◎第40回
読売犬山ハーフマラソン
平成30年2月25日(日)
午前9時45分スタート

◎第8回 **高橋尚子杯
ぎふ清流ハーフマラソン**
平成30年4月22日(日)
午前9時00分スタート

編集後記 広報担当理事 山本亮平

今年度の冬の到来は、例年より早かったように思います。体あつての施術になりますので、充分にご自愛ください。これからも 広報には、なるべく多くの組合員様のご意見を反映たく、皆様のお声をいただければ幸いです。